



2019～2022 年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

マーク・ダニエル・マローニー

大島 浩輔

2019～2020 年度
国際ロータリー会長

2019～2020 年度
第 2670 地区ガバナー

小松島ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日[12:30～13:30]

例会場 菊寿殿 おがわ 小松島市小松島町字外開 7-1

TEL:0885-32-0205

事務局 小松島市金磯町 10-19 TEL:0885-33-1211

2020 年 3 月 6 日 第 3343 回 例会記録

会員総数	25 名
出席会員	17 名
本日出席率	68.0 %
前回出席率	80.0 %

会長報告 ・コロナウィルスのため、株価が乱高下しています。
(木村 幹男)

幹事報告 ・ロータリーの会合が中止となっています。
(芝 敏廣) ・地区研修・協議会 ・インターシティミーティング(IM) ・青少年指導者セミナー(RYLA) ・ロータリー少年少女キャンプ

委員会報告 ・山下親睦研鑽委員長: 今月、誕生日・結婚記念日を迎える会員を紹介
誕生日: 中野会員、東條会員 結婚記念日: 芝会員
・葛原会員: ヴォルティスの映画を観に行きました。観客はまばらでした。

卓話 中山会員の紹介で、徳島県県民環境部環境首都課の、気候変動対策担当の奥田理悦 課長補佐、自然エネルギー推進室の佐野友則 主任による“脱炭素社会に向けた徳島県の取組み”でした。



□脱炭素社会のをリード！「環境首都とくしま」の取組み ・徳島県では気候変動対策「三本の矢」で全国をリード！ ・三本の矢の具現化へ ・緩和策 適応策

□エネルギー構造転換で脱炭素社会を実現 ・自然エネルギー協議会会長県として国をリード！ ・県内でも自然エネルギー導入加速 ・水素エネルギー「社会実装」を推進

□エシカルなライフスタイルへ転換促進！ ・エシカル消費の普及 ・県民、事業者のエシカルな環境意識の向上！ → ・県民総ぐるみでの取組み ・世界的な課題解決へ

□適応策の主流化で持続可能な「とくしま」へ！ ・適応策の主流化 → ・「徳島県気候変動適応戦略」策定 ・「徳島県気候変動適応センター」設置

□脱炭素社会へ！「環境首都とくしま」の挑戦 ・実質ゼロへ！ 県民総活躍での取組み ・2050 年温室効果ガス実質排出ゼロを宣言！ → ・ビジネススタイルの

KOMATSUSHIMA ROTARY CLUB WEEKLY

変革促進・エシカル消費の更なる普及・水素グリッド構想の推進 自然エネルギー導入拡大 → 地方が脱炭素社会の実現を牽引！



※卓話の資料としていただいた資料を添付しておきます。
 🌟印象的な名称“環境首都課”奥田補佐・佐野主任 さま、ご多忙な時期に卓話をいただき、ありがとうございました。

ニコニコ箱 奥田さま、佐野さま、中野会員、芝会員、

理事会報告 ・東條会員の退会は、3月末とのこと。
 ・会費等についての議論が必要である。

★本日の卓話資料：脱炭素社会に向けた徳島県の取組み

令和2年3月6日
 徳島県県民環境部環境首都課

脱炭素社会をリード！「環境首都とくしま」の取組み

現状
 2016年 発着！
 2020年 本格始動！

2019年度第1回気候変動対策推進会議
 2019年度第2回気候変動対策推進会議
 2019年度第3回気候変動対策推進会議

「脱炭」や「脱着」など「脱炭社会」の種を蒔き、いよいよ実現に近づいていく。

気候変動対策「三本の矢」(2018年度)で全国をリード！

①「すだちくん未来の地球儀」→脱炭社会の実現へ、「脱炭社会」をリード
 ②「脱炭社会」実現へ「脱炭社会」をリード
 ③「脱炭社会」実現へ「脱炭社会」をリード

三本の矢 具現化へ

①「脱炭社会」実現へ「脱炭社会」をリード
 ②「脱炭社会」実現へ「脱炭社会」をリード
 ③「脱炭社会」実現へ「脱炭社会」をリード

必要費
 「脱炭社会」実現へ「脱炭社会」をリード

エネルギー構造転換で脱炭素社会を実現！

自然エネルギー-国産電力供給として質をリード！

- 平成25年1月から会長就任
- これまで、緊急提言を含め多くの政策提言活動を実施
- 自然エネルギーの「主力電源化」
- 地産地消推進の推進が具体化
- 市場と統合する新たな取組に向けた動き
- など、多数の成果

県内でも自然エネルギー-導入促進！

2017年度「電力自給率」28.7%
 →国の2030年度目標を既に達成！

2030年「電力自給率」50%へ！
 「自然エネルギー-立派とくしま推進協議会」を設立し、自然エネルギー-の最大限導入へ！

水素エネルギー-「社会実装」を加速！

2015年10月
 全国に先駆け「水素グリッド構想」を策定！

- 自然エネルギー-水素グリッド構想
- 商用・移動式水素グリッド整備を支援
- 公用車へのFCV優先導入

「地方圏の水素社会」実現へ取組み加速！

- 地産エネルギー-「脱炭水素」
- 適用的水素供給体制構築
- FCバス・FC船など
- 水素モビリティの導入促進

エシカルなライフスタイルへ転換促進！

エシカル消費の普及

- 「消費行動新未来創造オフィス」開設(2017年)
- 「エシカル消費」制度(2018年)
- 「G20消費政策」推進(2019年)
- 消費者庁-教育の取組み
- 10を超える主要プロジェクトの展開
- 思いやりのある消費行動の推進
- 「消費行動新未来創造本部」(2019年)

県民、事業者のエシカルな環境意識の向上！

県民に伝えるための取組み

- 環境活動推進拠点「エコみらいとくしま」
- 2010年開設
- 2017年4月「フェアアップ」オープン
- 事業中、県民、市民が一体となり、県内の環境意識の向上を促進
- 「徳島県学生地球温暖化防止運動推進員」
- 2015年度 県民
- 次代を担う環境人材の育成
- イベント等において大活躍！

世界的な課題解決へ

- 「食品ロス削減全国大会」の開催
- 「エシカルでひろげよう」開催(2019年)
- 食品ロス削減による「脱炭社会」の実現
- 「エシカル消費の推進」
- 「SDT」を活用したフードバンクシステム
- 「SDT」を活用
- 「レジ袋削減」に関する協定(2019年)
- 事業者、消費者協会、県民団体、県の4者協定
- 1食基準-1チェーンの80%以上で無料
- 1年間約7千枚のレジ袋削減

適応策の主流化で持続可能な「とくしま」へ！

適応策の主流化

●「徳島県気候変動適応計画」策定(2018年) →気候変動を減らす、適応策を推進する

取組の方向性

- 気候変動のリスクを低減し、安全安心な社会づくり、ピンチをチャンスに地方創生につながる地域づくり
- 農業・林業・水産・観光・福祉・防災・健康・環境・文化・教育・スポーツ・観光・福祉・防災・健康・環境・文化・教育・スポーツ
- 農業・林業・水産・観光・福祉・防災・健康・環境・文化・教育・スポーツ

基本施策(例)

- 自然災害への対応 → 徳島県水災及び水害等対策における水管理事例)に基づき、事前防災・減災へ積極取組
- 農たるとくしま、アグリとくしま → 高温耐性-気候変動対応型品種の導入-開発及びブランド確立-品質向上
- 熱帯果樹の省エネ-低コスト栽培技術の開発-実証

●「徳島県気候変動適応センター」設置(2020年3月)

- 災害への備えを促す対策の展開
- 情報発信による県民意識の醸成
- 各種研究機関との連携による産学分野連携

●「徳島県気候変動適応センター」設置(2020年4月) →気候変動対策をはじめとする環境行政と自然災害対策などの危機管理行政を一元化！

脱炭素社会へ！「環境首都とくしま」の挑戦

実現ゼロへ！脱炭社会での取組み

2050年温室効果ガス実質排出ゼロを宣言！

- 小泉環境大臣との「脱炭社会」(2020.12.6)
- マイルストーン2030年温室効果ガス削減率40% → 2050年(2013年比)削減率100% → 2050年(2013年比)削減率100%
- 2030年(2013年比)削減率40% → 2050年(2013年比)削減率100%

●ビジネススタイルの変革促進
 「徳島県ESG推進協議会」による中小企業の環境ビジネス創出支援

●エシカル消費のさらなる普及
 消費者庁や消費者団体との連携を推進
 「脱炭消費フォーラム」「エシカルサミット2020」

●水素グリッド構想の推進
 水素社会の加速実現へ
 →燃料電池バス導入(2020年)

●自然エネルギー-導入拡大
 「自然エネルギー-推進PT」を活用
 →自然エネルギー-電力自給率 50%以上(2030年)

地方が脱炭素社会の実現を牽引！